

お知らせ

2025年 5月 9日
株式会社エッチ・ケー・エス

HKS、「人とするまでのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA」に出展

- HKSはEV、ICEの両分野から脱炭素社会へ向けた新アプローチを提案。 -

株式会社エッチ・ケー・エス（本社：静岡県富士宮市、代表取締役社長：水口大輔、以下 HKS）は、「人とするまでのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA」および「人とするまでのテクノロジー展 ONLINE STAGE1」に出展いたします。

今年度のテーマは『未来を加速するエネルギーとテクノロジー』

最先端のEV技術や持続可能なモビリティを実現する革新的ソリューションをご紹介します。



【主な展示内容】

1. HKS e-HIACE MULTI ENERGY CONCEPT



液体・気体燃料、電気 それぞれの CN エネルギーが動力源となるマルチエナジー

持続可能な世界を目指す「カーボンニュートラル社会」に向けて、クルマを取り巻く環境は急激に変化しています。

HKSは「液体」「気体」燃料および、「電気」それぞれのカーボンニュートラル（以下 CN）エネルギーを動力源とする、新しい発想の「マルチエナジー」コンセプトを提案します。

■HVコンバージョン構造

①エンジン

- ・純正エンジンは発電専用として使用し、高効率で運転を行う「**シリーズハイブリッド方式**」を採用。
- ・「バイフューエルシステム」開発で培った技術を応用し、液体・気体の両方のCN燃料に対応。
液体燃料：HKS CN Fuel(開発中)・バイオエタノール・NH₃混合
気体燃料：グリーン水素、CNメタン、RNG（再生可能天然ガス）、CN-LPG
- ・既存エンジンを活用する「**サステナブルチューニング**」で脱炭素化の実現を提案。

②モータ

- ・純正AT（オートマチックトランスミッション）搭載位置に**発電モータ**と**駆動モータ**を設置。
- ・プロペラシャフト以降の駆動系は純正を流用。

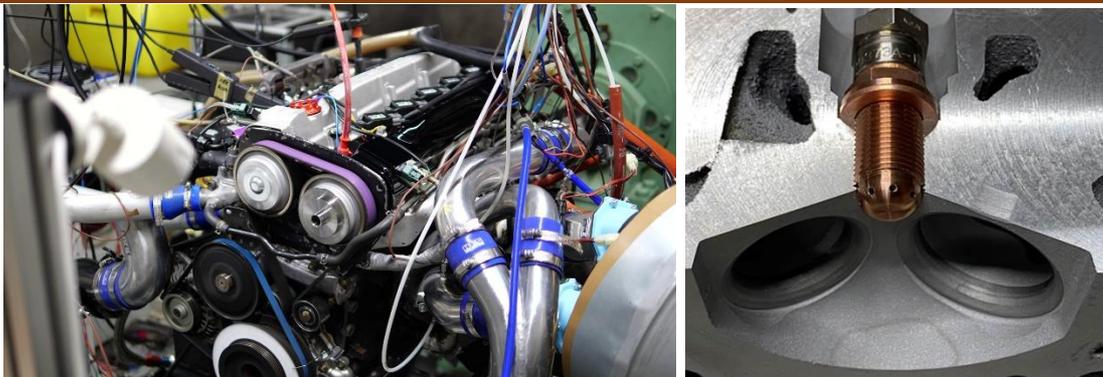
③燃料系

- ・従来の燃料タンクに加え、**バッテリー**を車両中央床下に、**CNGタンク**を車両後方床下に配置。
- ・「給油口」、「充電口（急速・普通）」、「ガス充填口」の3つのエネルギーポートを備え、多様なエネルギーに対応。

高負荷の電気デバイス利用や、災害時・停電時の電源供給車両としての活用も想定しています。

※展示会では構成部品の一部を展示予定。

2. 旧世代エンジンの高効率化による脱炭素社会への新アプローチ



内燃機関分野におけるサステナビリティ課題に対する取り組み

HKSでは『旧世代エンジンの高効率化による持続可能な社会への新アプローチ』として、主に1990年代に製造されたエンジンを対象に高圧縮比化、副室燃焼、高耐ノック性CN燃料対応といった高効率化技術の開発を進めています。

- ・熱効率25.5%のベースエンジンで開発を進め圧縮比15.5に変更、現時点で**最大熱効率40.6%を達成**。（従来比+15.1ポイント向上）
- ・既販車エンジンの高効率化で、新車製造および廃棄に伴う資源消費やCO₂排出を含むライフサイクル全体（LCA）での環境影響低減にも貢献。

HKSの強みであるレトロフィット技術を活用、**持続可能な社会の実現に向けた取り組みの一手**として位置づけています。

■ 展示品

① 高効率シリンダヘッド（スカイライン GT-R 用 RB26 エンジン）

・急速燃焼を可能にするプレチャンバ（副室燃焼）、および高圧縮比対応技術を搭載。

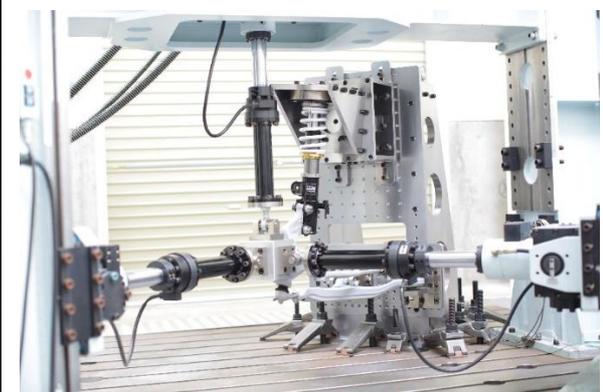
② 組立式ピストン（高連桿比仕様）（スカイライン GT-R 用 RB26 エンジン）

・新開発の削り出し 2 ピースピストンにより、ブロック高さを変更せずに、ストロークアップおよび、コンロッド長の延長を実現。

③ 3D カムシャフト ラジアル（放射状）バルブ

・5 軸研削が可能な HKS カム研削機（EMAG 社製）を使用し、従来では困難だった 3D カムプロフィールの製作が可能に。

3. サスペンション 受託業務（開発、製造、試験）



HKS では、長年にわたって培ってきた**サスペンション開発のノウハウ**を活かし、以下の分野における製品・サービスを展示いたします。

■ 純正形状ショックアブソーバおよびスプリング用品の開発・製造受託

自動車メーカーおよびアフターパーツ市場向けに、高品質な製品の開発・製造受託。

■ サスペンション部品の試験受託

耐久試験・性能評価・環境試験など、多様な試験ニーズに対応可能な受託試験サービス。

■ 電子制御ショックアブソーバ

走行状況や車両状態に応じて減衰力を自動制御、先進技術を搭載した電子制御ショックアブソーバ。

■ 競技用サスペンション（ダートトライアル用）

モータースポーツの現場で鍛えられた、過酷な走行環境に対応可能な競技用サスペンション。

■開催情報



人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA

Automotive Engineering Exposition 2025 YOKOHAMA

人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA（主催：自動車技術会）

- 開催期間：2025年5月21日（水）～5月23日（金）
- 会場：パシフィコ横浜 展示ホール・ノース
- 小間番号：475（展示ホール）
- URL：展示会オフィシャルサイト <https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama/>

人とくるまのテクノロジー展 2025 ONLINE STAGE1（主催：自動車技術会）

- 開催期間：2025年5月14日（水）～6月4日（水）
- HKS 特設サイト URL：[人とくるまのテクノロジー展 2025YOKOHAMA ONLINE 展示会](#)

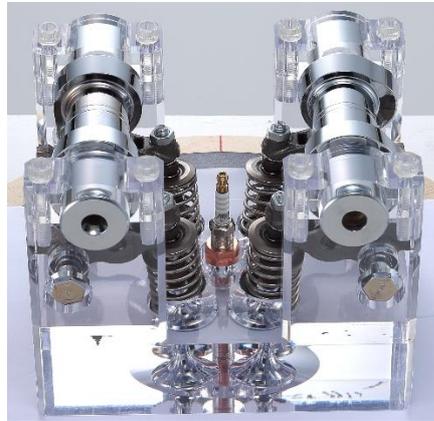
HKSは1973年の創業以来、自動車用アフターマーケットの分野でエンジンパーツ、ターボ、マフラー、サスペンション、エアクリナー、電子制御部品などのハイパフォーマンスパーツを世界中の車好きに喜んでいただける商品を提供し、「チューニング」の文化を築き上げたリーディングカンパニーです。

また、アフターマーケットでの製品開発経験を生かし、自動車メーカー様からの受託開発や生産の経験も多く、近年では高効率化エンジン開発や、環境省の補助金事業であるバッテリー交換式 EVトラックの実証事業などにも携わり、持続可能な脱炭素化事業への取り組みも進めております。



EVトラック向け 交換式バッテリーパック※

（※環境省委託事業『バッテリー交換式 EV 開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業（バッテリー交換式 EV とバッテリーステーション活用による地域貢献型脱炭素物流構築）委託業務』に採用）



プレチャンバ+ラジアル（放射状）バルブ

【本件に関するお問い合わせ先】

名 称：株式会社エッチ・ケー・エス

住 所：静岡県富士宮市北山 7181

T E L：0544-29-1111

W E B：HKS グローバルサイト <https://www.hks-global.com/>

HKS オフィシャルサイト <https://www.hks-power.co.jp/>